

3時間目「からだを思いやる商品って？」

エシカル消費

人・社会への配慮

誰かのために

社会のために

地域への配慮

地元のために

どこかのために

環境への配慮

地球のために

・フェアトレード商品

・からだを思いやる商品

・寄付付き商品

・障がい者が作った商品

・地産地消

・地元での買い物

・被災地への応援消費

・伝統工芸

・リサイクル(エコマーク付き)商品

・食品ロス削減

・オーガニック(有機)商品など

平成三十年三月

当番
小 高
磯 畑

皆さんは、知り合いに赤ちゃんが生まれたお祝いに、“オーガニックコットン”と表示されたベビー服などを贈られたことはありますか？オーガニックではない同様の商品があるのに、どうしてオーガニックを選んだのでしょうか？私もつい選んでしまいます。

“オーガニックコットン”は、2～3年以上農薬や化学肥料が使われていない畑において、化学肥料を使う代わりに有機肥料(牛のフンなど)を使用し、化学薬品などを使う代わりに自然のものや天然成分を使用し作られています。でも…実は、収穫されたコットンそのものは、オーガニックコットンでも普通のコットンでもあまり違いはありません。普通に栽培されたコットンでも残留農薬はとてまもなく、使う分には特に体に悪いわけではないのです。

それでも、オーガニックコットンは数値では測れない優しさや安心を肌で感じる事ができるので、自分や誰かのからだを思い、つい選んでしまうのでしょうか。

今回の授業で皆さんに知ってもらいたいことは、オーガニックコットンと普通のコットンの違いは栽培過程にある、ということです。海外のコットン畑では大量の農薬が使われていて、農家の人たちの健康に影響を与えています。また、過剰な化学肥料が土に残ることで、地下水の汚染や微生物の消滅など、環境にも悪影響を及ぼしています。

『からだを思いやる商品』とは、使う人だけでなく、作り手や環境(地球)を思う気持ちから生まれたものであると私は考えています。

買い物をする際、その商品がどのように作られているのかを気にして選んでみましょう。そして、自分や誰かのからだ、環境(地球)へ、**ちょっぴり幸せを贈って**みませんか？

来月の授業は、「寄付付き商品」です。寄付付き商品とはどういうもので、社会にどう影響するのかを掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎ 6 7 2 - 5 9 9 4

【ひとくちメモ】

※ オーガニックコットンは生産工程においても化学処理をせず自然の風合いを活かすため、綿そのものの色である「生成り」色になります。

板野町の取り組み

1月29日、エシカル消費の推進がまちづくりの達成への力となることを期待し、『板野町エシカル消費推進宣言』をしました。※町ホームページでご覧になれます

2月22日、エシカル消費をテーマに、板野西小学校の放課後子供教室を開催し、子どもたちにオーガニックや有機農業について学んでもらいました。



ある日の先生

もしも。お母さん？
カニ雑炊作ってくれて
嬉しいんだけど…。
こ、これ？カニカマ？
わ、私を…思いやって！



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。